

総合守谷第一病院 公開・オプトアウト書式

研究課題名	IV度裂傷既往妊婦の次回妊娠時分娩方法および周産期予後に 関する後方視的検討
情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合は その方法を含む。)	上記研究課題について検討を行うため診療録より診療情報を収集 します。共同研究機関である筑波大学附属病院と診療情報を共有 することがあります。 得られた情報は解析を行い、それにより得られた成果は学会発表 および論文報告を行うことで、同様の状況におかれた妊娠女性 の分娩管理方法の一助になることを目的としています。使用する データについては、個人が特定できない匿名化処理を行い、研究 目的以外には使用しません。
利用または提供する情報の 項目	診療録に記載された年齢・分娩時週数・児体重などの他、分娩 方法、産道裂傷の状況および修復状況、分娩後肛門失禁の有 無や合併症の有無、次子妊娠時の分娩方法・合併症の有無など を収集します。
対象者及び対象期間	2000年1月1日から2026年3月31日でIV度裂傷既往後に妊娠した 次子を分娩した女性
利用の範囲	検討結果については学会発表および論文発表を行います。
試料・情報の管理について責任 を有する者	総合守谷第一病院産婦人科部長 佐々木純一
問い合わせ先	総合守谷第一病院産婦人科 大原玲奈 連絡先:0297-45-5111(病院代表)
共同臨床研究機関	筑波大学附属病院
備考	